

# 北海道高度情報化農業研究会 スマート農業セミナー

～持続可能な酪農畜産に寄与するスマート農業技術～（ライブ配信あり）

【開催趣旨】：北海道の酪農畜産は、新型コロナを発端とした畜産物の需給緩和、不安定な国際情勢や円安を背景とした生産資材価格の高騰・高止まりから厳しい状況にある。一方でその経営形態は、放牧主体、個体飼育（つなぎ）、群飼養（フリーストール等）など多様であり、規模拡大に伴い哺育育成や粗飼料生産の外部化、飼育管理の自動化なども行われているが、重視する点も人、家畜、生産量、アニマルウェルフェアなど経営哲学も様々である。このような中、生き物である牛を理解し、個体の能力を出来るだけ引き出していくことがまずは重要であり、これまで人の経験による大きな牛個体の管理においてセンシング、モニタリング等スマート技術が活用できる時代となってきた。これら技術の現場実装への期待や課題、将来展望を議論することで、多頭化する酪農畜産の持続的な発展方向を探る。

【開催日時】：2025年2月27日（木）13:15～16:30（開場 12:45）

【会場】：TKP 札幌ホワイトビルカンファレンスセンター ホール 2B(定員 100名)

札幌市中央区北4条西7丁目 Nco 札幌ホワイトビル 2階+オンライン(Zoom ウェビナー 定員 300名)

※会場参加希望の方は定員に達し次第終了とします。

【プログラム】：

13:15-13:20 開会の挨拶

13:20-13:50 講演1「酪農畜産をめぐる情勢」

北海道高度情報化農業研究会 会長 小田原輝和氏



13:50-14:30 講演2「乳用哺育牛の健全な発育と管理省力化を両立させるスマート技術の開発」

北海道大学 大学院農学研究院 教授 上田宏一郎氏



14:30-15:10 講演3「先端生物化学、IoT及び宇宙技術による戦略的スマート放牧技術の可能性」

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 後藤貴文氏



15:10-15:20 休憩

15:20-16:30 パネルディスカッション

テーマ：「酪農畜産に寄与するスマート農業技術の可能性」を探る

ファシリテーター：農研機構 北海道農業研究センター寒地酪農研究領域 領域長 矢用健一氏  
(15分プレゼン)

パネリスト：十勝農業協同組合連合会 畜産事業部 湧洞牧場 場長 早田典生氏  
(15分プレゼン)



北海道高度情報化農業研究会 会長 小田原輝和氏

北海道大学 大学院農学研究院 教授 上田宏一郎氏

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 教授 後藤貴文氏

16:30 閉会

【参加費】：参加費無料（事前申込必要）

【申込・詳細】：下記アドレスに掲載の Web フォームよりお申込み下さい。

<https://h-sangakukan.jp/events/4764>

Web フォームが利用できない環境の場合は必要事項（所属、氏名、メールアドレス、オンライン参加または現地参加希望について）を記入の上<info@h-sangakukan.jp>までご連絡ください。

【主催】：北海道高度情報化農業研究会

【共催】：一般社団法人北海道産学官研究フォーラム

【連絡先】：北海道高度情報化農業研究会事務局 TEL 011-241-5701 Email:tomatsu@adhokkado.or.jp

